

# オーストラリア（シドニー） 視察報告書

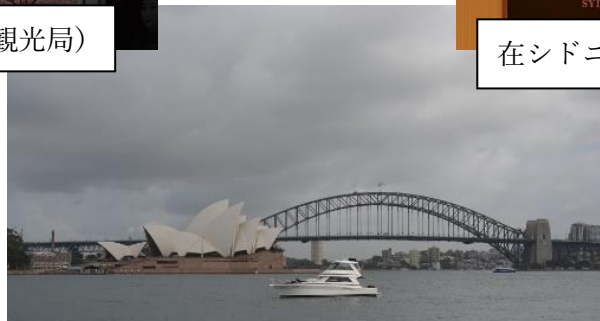
【期日】 令和元年 9 月 11 日～15 日



JNTO（日本政府観光局）



在シドニー日本国総領事館



JETRO シドニー

世界文化遺産  
オペラハウス



CLAIR（自治体国際化協会）

## 【はじめに】

今年も古田知事のトップセールス『清流の国ぎふ』の観光・食・モノの三位一体での PR のためオーストラリア シドニーに参加してきました。

私のシドニーの視察は 4 泊 5 日（機内 2 泊・ホテル 2 泊）という強行スケジュールでした。いつも海外視察の際には、知事一行と合流して視察できるところ以外は、上記の写真の政府関係機関を訪問しています。今回もそれぞれの機関で関係者と日本・岐阜県さらには地元大垣市を含めて観光交流、物産品の販売等、熱心に対話ができ、とても有意義な視察となりました。以下、日程はじめ順次視察報告をさせていただきます。

## 1.調査の概要

【目的】 オーストラリアにおける「知事のトップセールス『清流の国ぎふ』の観光・食・モノの三位一体での PR に参加する」とともに、現地での経済・流通等に関する事情調査を行い、今後の岐阜県の施策立案に役立てる。

【調査地】 オーストラリア（シドニー）

【日程】 令和元年 9 月 11 日～15 日

## 2.オーストラリアの概要

【面積】 769 万 2,024 km<sup>2</sup>（日本 37 万 7,930 km<sup>2</sup>の約 20.3 倍）

世界第 6 位（ロシア、カナダ、中国、米国、ブラジルに次ぐ）

【人口】 25,027,484 人（2019 年 4 月現在）

【移住者出生地】 オーストラリア 71.5%

海外 28.5%（英国 4.1%、ニュージーランド 2.5%、中国 2.2%、  
インド 1.9%、日本 0.2%）

【在留邦人数】 97,223 人（2017 年 10 月 1 日現在・外務省発表）

【首都】 キャンベラ

【政体】 立憲君主制

【元首】 エリザベス二世女王（英国女王兼オーストラリア女王）

【議会】 二院制

【公用語】 英語

【時差】 シドニー +1 時間（サマータイムあり）

【通貨】 オーストラリア・ドル

### 3.調査行程の概要

日	月日	現地時間	日本時間	スケジュール	滞在地	ホテル
1	9/11 (水)		20:00 22:00	・羽田空港国際線Jカウンター集合 ・羽田空港発 (QF26 便、所要時間9時間30分)		機内泊
2	9/12 (木)	8:30 10:30 14:00 15:00 17:00	7:30	・シドニー国際空港着 ・JNTO シドニー訪問 ・シドニー領事館訪問 ・JETRO シドニー訪問 ・ホテル着	豪・ シドニー	ソフィテル・ウ ェントワース
3	9/13 (金)	10:00 11:30 14:00 16:00 17:30		・午後訪問の CLAIR へのルート (建物) 確認 ・岐阜鮎海外推奨店 (Masuya) 認定式 ・自治体国際化協会 (CLAIR) 視察 ・岐阜県観光セミナー ・岐阜県三位一体レセプション出席		ソフィテル・ウ ェントワース
4	9/14 (土)	11:00 12:00 12:30 15:00 18:00 20:50		・GAS 候補店 (Ginkgo Leaf) 訪問 ・現地有名レストラン (6heads) での 飛騨牛推奨店銘盤認定式 ・6heads での昼食懇談 ・シドニー現代アート美術館 ・シドニー国際空港着 ・シドニー国際空港発 (QF25 便、所要時間9時間25分)		ソフィテル・ウ ェントワース
5	9/15 (日)		5:15	・羽田空港着		

## 4.調査報告

### ①日本政府観光局（JNTO）シドニー事務所

日時：令和元年9月12日（木）10：30～

出席者：〔相手方〕日本政府観光局（JNTO）シドニー事務所

次長 小川真味氏（同席者 次長 飯塚美理氏）

〔議会〕 伊藤秀光 その他 県議5名

内容・所感：

日本政府観光局（JNTO）は、世界21都市に海外事務所を持っており、外国人の訪日旅行の促進に向けて、海外現地目線に立ったプロモーションやマーケティングを行っている事務所です。

次長の小川真味氏は、和歌山県からの出向の方でしたが、オーストラリアの訪日のニーズ、そして旅行者の特徴や動向について説明を受けました。オーストラリアから日本を訪れる旅行者は年間約60万人で、一人当たりの旅行支出額は平均24万円ほどでとても大きく、平均泊数が13.3泊と長いことが特徴だと伺いました。

このことは、先日、企画経済委員会で視察した北海道ニセコ町観光圏（蘭越町・ニセコ町・倶知安町）に、年間約200万人の外国人が訪問され、そのうちオーストラリアからの観光客が一番多いと伺いました。約14万人で、冬のスキーシーズンに特化しています。雪質がとても良いと評判で、高級ホテル・高級コンドミニアムなどの外資系による建設ラッシュは今も続いています。JNTOでのお話の実態を目の当たりにした次第です。この巡り合わせに不思議なご縁を感じました。

日本語の学習者も、中国・韓国に次いで、オーストラリアが多いことから、教育旅行セミナーのパンフレットも作成して語学研修を推進しています。またSNSを活用した広報活動や、インフルエンサーの招へいなど、様々な取り組みを行っています。特にインスタグラムのフォロワーは、10万人を超えたこと、「#」を使ってもらうこと「#JNTO」ということもお願いしているそうです。日本の各地域とJNTOの連携による海外誘客のすばらしさから、同席した議員それぞれが、我が町の地域の特性を生かしたインバウンドについて、質問と提案が多くあり、時間がオーバーしました。私自身は、県が進める世界三大古戦場の一つ、関ヶ原古戦場の話、英語俳句も盛んになってきており、松尾芭蕉の「奥の細道」結びの地である大垣市を紹介、大垣市からいただいた英語版のパンフレットと絵はがきをお渡ししてきました。

トータルとして岐阜県へのオーストラリア人の誘客について活発な意見交換と情報収集ができたことは有意義でした。我々が今後JNTOと連携しニーズを調査して情報発信していくことの大切さを改めて感じました。



## ②在シドニー日本国総領事館

日時：令和元年9月12日（木）14：00～

出席者：〔相手方〕 在シドニー日本国総領事館 首席領事 松尾秀明氏  
〔議会〕 伊藤秀光 その他 県議5名

内容・所感：

在シドニー日本国総領事館では、説明を担当していただいた首席領事、松尾秀明氏の時間の制限があり、十分な質疑応答の時間は設けられませんでした。オーストラリアの情報収集と、日本との歴史的な関係について詳しくお話していただきました。特に1850年オーストラリア連邦タスマニア州クラレンス市の捕鯨船イーモンド号が北海道厚岸末広海岸にて遭難、地元民が乗組員32人を救助したことから、日本とオーストラリアとの最初のご縁ができたと話されました。実に169年前のことです。その後、太平洋戦争前の1942年に日本はオーストラリアに対して、ダーウィン沖に機雷を敷設、豪州海軍掃海艇と交戦、その後もダーウィン市への度重なる空襲、シドニー湾への攻撃という事実から反日感情はとても強かった中、1959年日本企業「藤田サルベージ」社がダーウィン湾の航行に妨げとなっていた沈没船の引き上げ作業を請け負った時に、日本人社員の献身的な仕事ぶりに融和が生まれ、その上、引き上げ船の金属から作られた77本の十字架を教会に寄付したことなど、いろいろ歴史的なお話を初めてお聞きました。そのこともあり、2018年11月には安倍総理がダーウィン市を訪問された際にはその慰霊碑に献花されたそうです。

私たちが知らない日本とオーストラリアの歴史をいろいろとお話していただき、戦争という悲惨な事実を多くの先人が永年にわたって少しずつ打ち解け、友好の歴史を築かれたことに感謝するとともに我々もさらに友好を深めていかなくては、と強く感じました。オーストラリアには、10万人の日本人が住んでいて、そのうちシドニーには約34,000人が住んでいること。またオーストラリアから日本を訪問する観光客が今年60万人を超えること。そして今や日本はオーストラリアにとって中国に次ぐ貿易相手であり、今後も様々な面で協力しながら両国の発展の可能性を感じました。

松尾首席領事様には、貴重なお時間をいただき、感謝申し上げます。



### ③日本貿易振興機構（JETRO）シドニー事務所

日時：令和元年9月12日（木）15：00～

出席者：〔相手方〕日本貿易振興機構（JETRO）シドニー事務所

所長 高原正樹氏（同席者 JETRO 岐阜所長 増田智子氏）

〔議会〕 伊藤秀光 その他 県議5名

#### 内容・所感

日本貿易振興機構（JETRO）シドニー事務所では、所長の高原正樹氏から、オーストラリアには永住者 56,000 人を含む約 100,000 人の在留日本人が住んでいること、オーストラリア経済は、1991 年 7 月～2019 年 4～6 月期まで 28 年以上 112 四半期連続で景気後退なく実質 GDP が成長しており、世界最長記録を更新中とのこと、また長期的に人口の増加が見込まれ、特に 6 割が移民による人口増と伺いました。経済成長と人口増、そして海外旅行者数の伸びも連動していると感じました。オーストラリアから日本を訪れる旅行者数は、2015 年にシンガポールを抜いて 7 位となりました。ちなみに、伸び率は一番高く +16.9%です。特にスキーと桜の季節に訪問される方が多いようです。日本人気があることはうれしい限りです。岐阜県もスキー場も多く、今後の PR も大切だと感じました。

オーストラリアは国全体の GDP では、2018 年に世界第 14 位ですが、日本は 3 位です。ただ一人当たりの GDP は 2000 年にはオーストラリア 24 位、日本 2 位。それが 2018 年にはオーストラリアが 13 位、日本が 28 位と逆転してしまいました。日本でよく言われる失われた 20 年ですが、それ以上かもしれません。オーストラリアでは経済成長は 28 年間成長し続けています。オーストラリアの最低賃金は、時給 1,700 円と、日本の 890 円と比べて倍近いです。そのため日曜日の出勤や残業はしなくなっています。日曜出勤をすると賃金が高くなりますから、完全に週休二日、残業なしで、物価も高いですが、それでも人々の暮らしぶりがとても豊かに感じました。65 歳以上の高齢者の暮らしは、6.5%/年と金利も高いことから、5 千万円くらいはお金が貯まるとお聞きし、驚きました。正確を期すためにジェトロ岐阜を通して再度確認したら、1985 年にスタートした確定拠出年金についてのこと。それは事業主が給与の 9.5%を労働者の指定する投資口座に振り込んで労働者が運用するもので、その平均金利は 9.6%で運用され、それも複利で運用されるのでリタイヤされる時に支給年金総額は 4,000 万から 5,000 万円になるということでした。ヒアリングに間違いがあり、貯金とは違っていました。

いただいた資料から、日本とオーストラリアでは、毎年日豪経済交流合同委員会会議がもたれており、去年はシドニーで、今年は大阪で 10 月 7-9 日に開催されました。石炭・石油・天然ガスなどの資源の輸出が GDP 経済成長の要因です。今後は金融・IT・サービスの方にも経済成長が見込まれると記されていました。

今回の視察の目的である「岐阜県産品の販路拡大」や「岐阜県への来訪者の拡大」というテーマでしたが、説明を受けたお話は大変参考になるものでした。



#### ④日本食レストラン「鱒屋」での岐阜鮎推奨店認定式

日時：令和元年9月13日（金）11：30～

場所：鱒屋

出席者：〔相手方〕 鱒屋 CEO 定松勝義氏

レストラン関係者・流通関係者等

〔県関係〕 知事・農政部長・観光国際局長・古田アドバイザー

〔議会〕 伊藤秀光・水野副議長・玉田議員・その他 県議5名

〔市町村〕 美濃市長・美濃市議会議長

〔民間〕 JA 関係者 ほか

#### 【MASUYA】

- ・シドニー市内の高級日本食レストラン
- ・1993年にオープン、日本食の草分け的な存在
- ・店内には5mの寿司バーがあり、水産物のメニューが豊富
- ・オフィス街に位置し、地元のビジネスマンで賑わう
- ・2000年にはシドニーオリンピックで約7千食をケータリング



#### 【定松 勝義（さだまつ かつよし）氏】

- ・1961年生まれ、愛媛県松山市出身
- ・22歳でワーキングホリデー制度を使い渡豪
- ・一時帰国するも、再渡豪しハイアットホテルのシェフとして勤務をしながら世界各国の料理を学ぶ
- ・1987年独立し、シドニー市内でカレーショップをオープンさせるも3年で撤退
- ・再起をかけ、32歳で「MASUYA」を開業し成功を収める
- ・現在は、シドニー市内に6店舗の飲食店を展開



#### 内容・所感

「岐阜鮎海外推奨店」鱒屋というレストランで開催された認定式と昼食懇談会に参加しました。知事のあいさつでは、昨年5月にオーストラリアで牛肉の輸入が解禁されたことを受けて、岐阜県は最初に取り組んできた県として「飛騨牛」を自信を持ってお勧めするというお話がありました。続いてシドニーで創業20年以上となる和食レストラン「鱒屋」の定松 CEO から、鮎の美味しさと飛騨牛がワインに合う素晴らしい牛肉であることが紹介され、シドニーの関係者に大きなアピールになりました。

鱒屋さんでは鮎も出されましたが、オーストラリアの事情により「頭」と「はらわた」

はすべてない状態で少し残念でした。今回は試験的にサンプルとして許可が出たということです。知事はマルガリータ農業大臣に「鮎」の解禁、輸出できるようお願いもし、政府間の交渉に入っていると話されました。玉田議員は、清流長良川鮎の推進協議会会長としてあいさつされ、長良川流域には16都市86万人が伝統文化を守りつつ生活していること。稚魚を放流して持続可能になるよう努力していること。鮎は夏を代表する魚で、料理としては塩焼き・甘露煮・寿司などに使われること、その他、鮎のことは詳しいので何でも聞いてくださいと話され、この店は「鱒屋」さんですが、将来は「鮎屋」に変わることが期待している、と話された時は、会場がは笑いの渦となりました。さらに、この世界遺産となった長良川の鮎を次の世代につないでいくことは我々の責務です。と話されました。鱒屋さんは創業年数もさることながら、この日の来客数もかなり多く、広くて大きな店舗ですので、今後の岐阜県の農産品の取り扱い増加に期待が膨らみました。

オーストラリアでは、日本の牛のような「和牛」という商品名で、広く世界に輸出されていますが、その味は、飛騨牛のとろけるような歯ごたえ、味とは全く違います。これからますますオーストラリアでも飛騨牛のお店が増えて、オーストラリアのもっと多くの方々に喜んで食べてもらいたいと思います。





⑤一般財団法人 自治体国際化協会（CLAIR）シドニー事務所

日時：令和元年9月13日（金）14：00～

出席者：〔相手方〕自治体国際化協会（CLAIR）シドニー事務所 所長 赤岩弘智氏  
〔議会〕 伊藤秀光・その他 県議5名

内容・所感

私はいつも海外視察の際には、この協会（CLAIR）を訪れるのですが、今回は日程の調整がつかず視察できないかと思っていましたが、午後に時間が空くことがわかり、急遽電話でアポイントを取りました。岐阜県庁に出向されてみえた方で、私のこともよくご存じで、すぐ午後2時からということで了解をいただけたことはとてもラッキーでした。なお午後からの他の県議との視察に支障のないようにと、午前中にホテルから事務所までの下見をしました。

自治体国際化協会（CLAIR）は、東京に本部を構え、シドニーを含めて世界7か所に事務所が設置され、日本の自治体と世界各国の架け橋として活動されています。主な取り組みとしては、「自治体の活動支援」や「姉妹都市交流推進」、「経済交流支援」などを行っているそうです。

特にシドニー事務所では、日本全国の自治体に外国語指導助手や国際交流員等を配置するJETプログラムや多文化主義政策に関する調査などが特徴的に行われているようです。ご説明の中で、「多文化主義」に関する教育や治安、移民の受け入れなどは、外国人労働者がこれから急増する日本において大変参考になるお話でした。特に移民に対する教育については、外国出身者の入学前の英語教育や翻訳システムの充実など、今後日本がしっかり取り組むべき施策を学ぶことができました。また海外から来た同じ民族が同じエリアで生活して、オーストラリア社会に馴染んでいくコミュニティー自治について、自治体がしっかり支援しているということも重要だと感じました。

オーストラリアの政府構造についてもレクチャーをいただきましたが、連邦政府と州政府、そして地方自治体のそれぞれの役割は、特に地方自治体の権限や役割という点で日本とは全く違う構造でした。



## ⑥岐阜県プロモーション

### 第1部 観光セミナー

日時：令和元年9月13日（金）16：00～

場所：ソフィテル・ウェントワース・ホテル

出席者：〔現地関係者〕 航空会社・旅行会社・メディア等 約70名

〔県関係〕 知事・観光国際局長・古田アドバイザー

〔議会〕 伊藤秀光・水野副議長・玉田議員・その他 県議5名

〔市町村〕 美濃市長・美濃市議会議長

### 内容・所感

シドニーのホテルで、岐阜県が主催するオーストラリアの観光関係者向けの「観光セミナー」が開催されました。招待者は、現地旅行会社、航空関係者メディアなど約60名。メルボルン在住の写真家ピーター・ハイランド氏による岐阜県の世界文化遺産の「合掌造り白川郷」などの動画が上映され、岐阜県のクイズを交えながら県の名所などについてPRされました。ほかにも現地雑誌の編集者マイケル・ロドリゲス氏が司会のトークセッションでも岐阜県の魅力が来場者に伝えられました。こうした地道な取り組みが、岐阜県への観光誘客には効果的であると感じました。



## 第2部 観光・食・地場産品PRレセプション

日時：令和元年9月13日（金）17：30～

出席者：〔県関係〕知事・観光国際局長・農政部長・古田アドバイザー

〔議会〕伊藤秀光・水野副議長・玉田議員・その他 県議5名

〔市町村〕美濃市長・美濃市議会議長

〔民間〕JA関係者・地歌舞伎関係者、ほか

### 内容・所感

「岐阜県観光・食・地場産品PRレセプション」には、昨日からお世話になった、在シドニー日本国総領事館の松尾首席領事や、JETRO シドニー事務所の高原所長、JNTO シドニー事務所の小川所長、CLAIR シドニー事務所の赤岩所長をはじめとして、オーストラリアの旅行会社、食・モノのバイヤー、百貨店、ディストリビューター、そして現地メディアや経済界のVIP など多くの方々が参加されました。岐阜県知事のスピーチは、飛騨牛はすでに23ヵ国に向けて輸出されており、昨年5月にオーストラリアが牛肉の輸入を解禁したことに伴って、岐阜県が日本で初めてオーストラリアに牛肉を輸出するという実績を強くアピールするものでした。また1300年の歴史と伝統を誇るユネスコの世界遺産としても認定された美濃和紙が来年の東京オリンピック・パラリンピックの1位～8位までの表彰状に使用されることが決定した、さらに鮎の輸出については日本政府とオーストラリア政府が交渉中とも話されました。

またシドニー領事館の松尾首席領事のスピーチでは、岐阜県の伝統文化や工芸技術そして自然の美しさを具体的な紹介とともに強くアピールしていただいたので、岐阜県民として誇らしく感じました。

このPRレセプションは、JETRO や JNTO などからも高く評価されましたので、飛騨牛や鮎などの農作物にとどまらず、県内地酒ブランド、関の刃物や美濃の和紙、東農の陶磁器などの県産品の販路拡大と、岐阜県へのオーストラリアからの誘客に大きな効果がでることが期待されます。恒例となっています中津川の地歌舞伎も披露されました。



## ⑦G A S 候補店 ginkgo leaf

日時：令和元年9月14日（土）11：00～

出席者：〔相手方〕 ginkgo leaf オーナー Yew Kong Tham 氏

〔県関係〕 知事・観光国際局長・古田アドバイザー

〔議会〕 伊藤秀光・水野副議長・玉田議員・その他 県議5名

〔市町村〕 美濃市長・美濃市議会議長

### 【Ginkgo Leaf 概要】

(1) 所在地 オーストラリア・シドニー

(2) オーナー ユー・コン・タム氏

(言語：英語)

(3) 創業 2014年

(4) 事業内容 日本製のキッチン用品・生活雑貨等を販売

(5) 事業展開 実店舗（1店舗）及びオンラインで販売を実施している。メインは実店舗販売。日本製品専門店でオーナーが直接買い付けを行う。

(6) 経緯

- ・オーストラリアでの新たなG A S 候補店の発掘調査として、県がジェトロ岐阜に調査を委託。ジェトロ岐阜はジェトロシドニー事務所と連携し、候補店として5店舗を県に推薦。
- ・平成31年3月にジェトロシドニー事務所の職員とともに各店舗を訪問。「Ginkgo Leaf」にてオーナーと面談し、本県地場産業の魅力を紹介するとともに、本県の視察を提案。
- ・令和元年5月に「Ginkgo Leaf」オーナー1名を招へい。県内企業14社を訪問し、商談及び商品購入。（購入品目：陶磁器・木工・掛け軸）
- ・令和元年10月下旬に県産品のテストマーケティングを実施することで合意。



ユー氏

### 内容・所感

オーストラリアで初となる「G A S 店舗」への契約に向けて、岐阜県産品をPRするために、知事と県議会議員の一行はセレクトショップ「ginkgo leaf」を訪問しました。

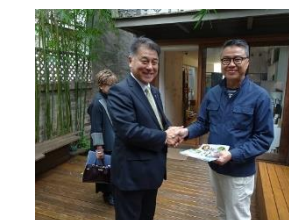
今春5月には、「ginkgo leaf」のオーナーを岐阜県に招いて、県内各地の名産品を紹介しながら、品定めをしていただいていることもあり、10月17日から2週間行われるキャンペーンに向けて、既に店内には岐阜県産品がたくさん陳列されていました。

知事からはオーナーのユー・コン・タム氏に対し、「県産品のシドニーにおける販路拡大

にご協力いただきたい」と依頼したところ、「岐阜は技術とデザインを兼ね備え、長い年月使用する価値のある商品が数多くある。シドニーの人達にもこの素晴らしさをぜひ広めていきたい。今後、たくさんの岐阜県産品を取り扱っていきたい」との心強い言葉がありました。

GAS店舗の契約は、オーストラリアではまだないので、JETROなどのバックアップで店舗の候補を募集しながら、テストマーケティングまでできています。

店内の奥には、リトルJapanという感じの盆栽、竹の庭園があり、心和むひと時でした。社長さんと写真をとり、少しお話をしましたが、大垣の「ますや」の大橋社長さんとも懇意と伺い、彼が岐阜県との連携に積極的に動いてみえることを誇らしく感じました。国際戦略、販路拡大に「ます」はお酒とセットで売られているとのこと、オーストラリアでは両手で持って飲まれると話されました。間口は小さいのですが、細長く手狭な部屋に、日本からの布や岐阜県の物産の和紙・陶磁器・木工がたくさん展示されている状態に感激しました。一步一步、岐阜県の物産の販路が拡大されていくことを祈るばかりです。



## ⑧有名レストラン 6HEAD での飛騨牛推奨店認定式

日時：令和元年9月14日（土）12：00～

出席者：〔相手方〕 アンドリュー・ドナルド 6HEAD レストランマネジャー

現地関係者：トニー・マンダリティグローバル・ミート社代表

高原正樹 JETRO シドニー事務所所長

現地メディア及びレストラン関係者 13名

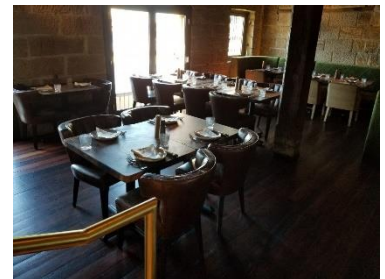
〔県関係〕 知事・農政部長・観光国際局長・古田アドバイザー

〔議会〕 伊藤秀光・水野副議長・玉田議員・その他 県議 5名

〔民間〕 JA 関係者 ほか

### 【6HEAD】

- ・本年5月にオープンした話題の高級ステーキレストラン
- ・オペラハウスをシドニー湾の対岸から望める絶好の立地
- ・厳選ステーキが勢ぞろいし、それぞれの肉に応じた最高の味付けと焼き加減で提供
- ・海の幸のメニューも充実
- ・店名は、1788年にもともと牛のいなかったオーストラリアに6頭の牛が南アフリカから運ばれてきたことに由来



### 【ショーン・ホール氏】

- ・南アフリカの牧場育ち、元メルボルンNOBUのヘッドシェフ
- ・伝統的なフランス料理の技術を習得後、英国のカリスマシェフ、ジェイミー・オリヴァーのレストラングループで務めた経歴あり
- ・料理の創意工夫たるや、常人が考え及ばない範囲で作品に仕上げる天性の腕前で、シドニーで今、最も注目を集めるシェフの一人
- ・牧場で育ったことから良質な肉の選定眼と牛の旨さを最大限に引き出す調理法に長ける
- ・「6HEAD」のオープンにあたっては、全豪で最も良質な牛を求め何カ月もかけて仕入れ先を探したというこだわりぶり



## 内容・所感

海の対岸にオペラハウスが一望できる素晴らしいロケーションにある「6HEAD」というレストランを訪問しました。このレストランでは、オーストラリアで3店舗目となる飛騨牛推奨店の認定式を行い、知事から同店レストランマネージャーのアンドリュー・ドナルド氏へ銘板を授与しました。知事から、飛騨牛海外推奨店となることへの謝意を伝えたところ、ドナルド氏は、「飛騨牛海外推奨店に認定されて光栄。これからは、シドニーの皆様へ飛騨牛の美味しさを伝えていきたい」と意気込みを語りました。

現地メディアやディストリビューターなど食の関係者を招待して、飛騨牛料理を食べながら、飛騨牛の知名度の向上と、新たな販路拡大を目指して、昼食懇談会が行われました。私は偶然にもお隣の席が、メルボルンで飛騨牛の販売、料理店の看板を掲げているシェフの荒金育英さんでしたので、いろいろと料理のお話をお聞きすることができ、ラッキーでした。素材の大切さ、料理は最後のソースによって変わるので、塩・醤油も本物を使うと、こだわりの料理法を話されました。とても関心深くお聞きしました。特に古田知事がこの方と最後の飛騨牛のメニューの料理法について色々とお話をされているのをそばで聞き「飛騨牛」にかける古田知事の熱い思いを感じることができました。

昨日のレストランは地下にある和風レストラン、今日のレストランはシドニー湾を望む好立地のオーストラリア人が多く訪れるレストランなので、それぞれの個性を発揮していただきながら、飛騨牛の知名度と販路が拡大されればよいと思いました。

情報交換や意見交換で盛り上がるとともに、県産品を使った豪華なコース料理でしたので、長時間にわたって懇談できたことは大きな成果だったと思います。



左から4人目：アンドリュー・ドナルド氏

同5人目：J A全農岐阜

(飛騨牛銘柄推進協議会) 足立会長



## ⑨現代アート美術館

日時：令和元年9月14日（土）15：00～

場所：キャリッジワークス（Carriageworks）

- ・2007年にオープンした芸術家主導で現代アートを表現するマルチアートセンター（ビジュアル・アート、ダンス、パフォーマンス、音楽、映像等）
- ・元は鉄道車両の基地施設で、1988年に閉鎖されたものをニュー・サウス・ウェールズ州政府が2002年に買い取り改修したもの。
- ・オーストラリア政府等からの支援を受けている。

出席者：〔県関係〕知事・観光国際局長・古田アドバイザー

〔議会〕伊藤秀光・水野副議長・玉田議員・その他 県議5名

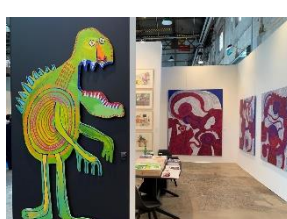
〔市町村〕美濃市長・美濃市議会議長

### 内容・所感

私にとって最後の視察地となる「現代アート美術展」は、オーストラリア最大級の地元及び国際的な様々なジャンルのアート作品を集めたフェアで、世界90以上のギャラリーが参画し、12カ国400人以上の芸術家の作品を展示されています。会場は、鉄道の車輛倉庫で、レンガ造りの建物、軌道レールも残っていました。近代ビルの立ち並んでいたシドニー市内とは違った、殺風景な場所で開催されている意外性と、来場者が子どもを含めて大変多かったことが驚きました。

この会場には、9月13日の「岐阜県プロモーション」で紹介された美濃和紙に描いた画家の作品が展示されているということで訪問しました。

視察の途中でしたが、帰国のフライトの時間もあり、私はこの会場から空港に向かいました。





## 5.視察を終えて（まとめ）

岐阜県では平成 21 年度から、官民が協働し、主に成長著しいアジアをターゲットとして、「観光・食・モノ」を一体化して総合的な岐阜県 P R を展開し、海外誘客と県産品の輸出向上につながる「飛騨・美濃じまん海外戦略プロジェクト」を推進してきました。昨今では欧米にターゲットを絞り、平成 26 年にニューヨーク、平成 27 年にはイギリス・フランスと古田知事・議長・副議長・民間関係者とともに、現地を訪問し、海外誘客と県産品の輸出についてたびたび現地でのトップセールスに参加できたことは、とても有意義なことでした。

さて今回、はじめて南半球のオーストラリアで同様の主旨で、これまでの飛騨牛や地酒、美濃和紙、陶磁器など県産品販売拡大と、観光誘客の推進のほか、今回は世界農業遺産となった長良川の鮎を試験的に試食していただき、ご賞味いただいて鮎の販路の拡大にあてることも含まれる新たな目標です。鮎の販路拡大の承認の件は、日本政府とオーストラリア政府で交渉に入っているようです。一日も早く長良川の鮎をオーストラリアの方々に味わってもらおう日がくることを願っています。

私は、知事や副議長をはじめ随行者一行と販路拡大のためのイベントに出席するなどの視察日程を他の県議 5 名より 1 日早く終えて、9 月 14 日の午後、現代アート美術館の視察を途中で抜けて空港に向かうという、4 泊 5 日のうち 2 泊が機内、2 泊がホテルという短期間に、シドニー市内にある日本の関係機関、JNTO・領事館・JETRO・CLAIR を視察し、現地と日本、岐阜県、さらには各議員の地元とオーストラリアとの関係強化について、いろいろと意見交換できたことは、とても有意義でした。大変ハードなスケジュールでしたが、内容が濃く実りある視察ができた満足しています。

オーストラリアでは、世界記録を更新し続けている経済成長の指数が示す通りに、建設中の建物も多く、元気な経済と移民政策の成功で、人材も豊かであること、景気の下支えで働き方が先進的で、完全週休二日制、時間外労働はほとんどなく、最低賃金も非常に高い状況であることから、アフターファイブや週末の街の雰囲気や人の流れの活発さを体感しました。全員で夕食をしたカフェシドニーは、人気のレストランということもあって、満席でもとても活気がありました。オーストラリアの経済状況のすばらしさを物語っていると感じました。松尾首席領事からお聞きした、日豪の関係が北海道沖で座礁したオーストラリアの船を救った話は初めて知りました。日豪の友好の証を学びました。そして第二次世界大戦の悲劇を乗り越え、現在日本とオーストラリアは極めて友好な関係にあることは素晴らしいことです。その陰には前述日本人の正直な働きぶりがあることも知りました。

一方で少し気になったのは、経済成長とそれによる物価の上昇によって、年金生活者であるシニア世代の暮らしへの影響と現状でした。それについては、視察先の CLAIR で年金制度や医療制度などについてお尋ねをしました。シニアのライフスタイルが日本とはかなり異なっていて大きな問題にはなっていないとのことでしたが、その件は JETRO の視察報告書で記しました。介護保険制度についても確認したら、オーストラリアには介護保険制度はなく、一般税財源による介護サービス（施設・在宅等）が供給されているとのことでした。

移民の歴史が長く「多文化主義」（日本でいう多文化共生）も教育の体制や語学力習得支

援などでしっかり根付いていると感じました。日本は今後外国人労働者の受け入れをしていかなければ少子高齢化に対応しきれないことを考えると、その体制を学びながら、しっかりと対応していくべきだと感じました。

日本との貿易や観光客としての訪日の状況も極めて良好で拡大傾向にあることはうれし  
いかぎりです。政治や行政の構造の違いなども JNTO や JETRO などを訪問して説明を受  
ける中でしっかりと学ぶことができました。

訪日オーストラリア人の宿泊日数は長く、滞在の支出が多いことから、今回行ったようなプ  
ロモーションや、観光誘客は大変大きな意味があったと思います。今後も岐阜県から JNTO  
や JETRO への情報提供などをしっかりとしていくように働きかけたいと思います。我々も地  
元自治体関係者にもパイプ役として情報を提供することも大切だと感じました。

時差も少なく、訪れるための時間的負担も少ないことを考えると、ますます訪日オースト  
ラリア人は増えることが予想されます。岐阜県は歴史や文化、豊かな自然と県産品での美食、  
スキーや温泉などをアピールして誘客の施策を推進すべきであり、受け入れ態勢の確立を  
進めるべきだと感じました。そのことは企画経済委員会の県外視察で訪問したニセコ町で  
の外資（特にオーストラリア）の投資がとて多く、パウダースノーを求めてオーストラリ  
アからも多くの観光客が訪れることも知り、訪問した時の学びを現地で直に知ることがで  
きました。

オーストラリアと日本では、行政の仕組みやライフスタイルは大きく異なりますが、類似  
点や交流の深さはかなりあると感じました。特に交通事情は自動車の左側通行、速度表示は  
km表示で、自動車を生産していないこともあって日本車がとて大きなシェアを占めてい  
ることは驚きの一つでした。

また貿易相手としても日豪関係がしっかりと構築されているし、学生の留学や日本語を学  
ぶ人の多さ、姉妹都市提携の多さなど、今までの親密さをさらに深めていくことが大切だ  
と思いました。

今回の視察の目的であった「三位一体プロジェクト」が功を奏して、飛騨牛や鮎、日本酒  
や伝統工芸品などの販路拡大を期待します。そのためにも一層の情報収集と適切で有効な  
情報発信が不可欠であり、今回の視察で得たことをしっかりと施策の提言につなげたい  
と思います。またオーストラリアは建国が新しいだけに中津川の地歌舞伎など日本の伝統文  
化の紹介も岐阜県への関心を高めるためには意義深いことだと感じました。今回こうした  
学び多き視察で貴重な経験ができたことに感謝するとともに、今後の岐阜県政にしっかりと  
と活かしていけるように努力します。

本レポートを作成するにあたっては、ほぼ同じ日程で視察しました県議 5 名の皆様と一  
部同じ日程の水野副議長、玉田議員に大変お世話になりました。おかげをもちまして有意義  
な視察になりました。なお報告書の一部を引用させていただきました。ありがとうございます。

### 【参考資料】

視察を終えた後、ホテルの近くに世界三大美港のひとつシドニー湾を訪れました。シドニー湾には、89年前に建設されたハーバーブリッジ、46年前に14年の歳月をかけて完成したオペラハウスがあり、オペラハウスは世界文化遺産にも登録されています。その姿はヨットの帆をイメージした外壁の白いタイルで、とても気品と華麗さを感じました。ただこのオペラハウスは1956年に実施された国際デザインコンペにおいて選ばれた当時38歳のデンマークの若手建築家ヨーン・ウッツォン氏でした。彼の作品が推定建築費が最も安く予想工期も3年ほどと考えられたことが決め手の一つとなりましたが、1959年に始まった建設工事は想像以上の難航し、建築費用も当初の予算を大幅に超えました。工事は遅れ政府と折り合いがつかなくなったウッツォン氏はデンマークへ帰国、そのあとを3人のオーストラリア建築家チームが引き継ぎ、着工から14年経た1973年に完成。エリザベス女王臨席のもと落成式が行われましたが、ウッツォン氏は招待を辞し、その後一度もオーストラリアを訪れていません。詳しくは報告書の最後にオペラハウス建設にまつわる完成までの14年間の苦労話の書籍「シドニーオペラハウスの光と影」のまえがきを添付しましたのでお読みください。また視察先でいただきました資料も添付いたしましたので参考にしてください。



オペラハウスを設計したヨーン・ウッツォンの碑  
建設当時のニューサウスウェールズ州首相 ジョゼフ・カール氏の話とレリーフ  
その言葉「名は忘れられても建物は残る」と記されています



## シドニー事務所紹介

当事務所は、有名なオペラ・ハウスのあるサーキュラー・キーと同じく観光客で賑わうダーリング・ハーバーとの中間に位置し、シドニー市内のウィンヤード駅のすぐそばにあります。オーストラリア及びニュージーランドにおける訪日プロモーション活動の支援拠点として、ご活用ください。

### 事務所連絡先

Japan National Tourism Organization (JNTO) Sydney Office  
 Suite 1, Level 4, 56 Clarence Street,  
 Sydney NSW 2000, Australia  
 TEL : +61 2 9279 3177  
 FAX : +61 2 9279 3166  
 Email : visitjapanau@jnto.go.jp  
 Web : www.jnto.org.au  
 Facebook for Australia & New Zealand :  
 www.facebook.com/VisitJapanAU  
 Instagram for Australia & New Zealand :  
 www.instagram.com/visitjapanau/



### 所長からのメッセージ：田中 陽子

オーストラリアから日本への旅行者数は、2017年、過去最高の49万5千人を記録しました（前年比約11%増）。

オーストラリア人旅行者は、全市場の中でも滞在日数が長く、消費額が高く、訪日旅行の満足度の高いことが特徴です。

パウダースノーに代表される日本は、スキーデスティネーションとしての人気定着していますが、最近、食をはじめとする日本文化や日本各地の観光魅力への関心が高まっています。

訪日需要の拡大を背景に、日本-オーストラリア間の直行便も年々増加しています。

訪日プロモーション活動の支援拠点として、ぜひ当所をご活用ください。

### 担当地域

オーストラリア、ニュージーランド含む大洋州地域

### 業務内容

- 訪日旅行促進事業
  - ・ 旅行会社向けセミナーおよび商談会の実施
  - ・ 訪日テレビ番組取材支援
  - ・ 新聞/オンラインでの日本特集号の掲載
  - ・ 新聞/オンラインでの旅行会社との共同広告の掲載
  - ・ 旅行会社・航空会社・クルーズ会社・OTA（Online Travel Agency）との共同プロモーション
  - ・ 旅行会社/メディアの訪日視察支援
- スノー関係プロモーション
  - ・ 旅行博（SNOW TRAVEL EXPO）への出展
  - ・ セミナーおよび商談会（SNOW & ADVENTURE SEMINAR）の実施
- MICE事業
  - ・ AIME への出展
  - ・ セミナーの実施やPCO等キーパーソン訪日視察支援
- 他機関との連携
  - ・ 日本祭（Matsuri in Sydney）出展
  - ・ 日本映画祭サイトとの連動による情報発信
- 一般向け観光情報の提供
 

一般旅行者には、電話やメールで訪日旅行に関する情報提供を行うほか、事務所の来訪者スペースにおいて、地図やパンフレットなどの配布および観光情報の発信を行っています。

## JNTOについて

### プロフィール

#### 事業概要

#### 海外事務所の活動

- ▶ ソウル事務所紹介
- ▶ 北京事務所紹介
- ▶ 上海事務所紹介
- ▶ 香港事務所紹介
- ▶ ジャカルタ事務所紹介
- ▶ デリー事務所紹介
- ▶ シンガポール事務所紹介
- ▶ バンコク事務所紹介
- ▶ マニラ事務所紹介
- ▶ ハノイ事務所紹介
- ▶ クアラルンプール事務所紹介
- ▶ シドニー事務所紹介
- ▶ ニューヨーク事務所紹介
- ▶ ロサンゼルス事務所紹介
- ▶ トロント事務所紹介
- ▶ ローマ事務所紹介
- ▶ ロンドン事務所紹介
- ▶ マドリッド事務所紹介
- ▶ フランクフルト事務所紹介
- ▶ パリ事務所紹介
- ▶ モスクワ事務所紹介

#### 契約・調達

#### 採用情報

#### 法令・規程

#### 情報公開

#### 事業計画・活動報告書

#### 外部有識者会議

#### JNTO役員インタビュー・執筆記事等

## ジェトロ・シドニー事務所

🖨️ このページを印刷する



住所	Level 15, Governor Macquarie Tower, 1 Farrer Place, Sydney NSW 2000, AUSTRALIA
	<a href="#">地図</a> ▶

Tel	61-2-9002-6200
Fax	61-2-9247-6301
お問い合わせについて	<b>お願い</b> ジェトロ海外事務所では、当該国以外に在住のお客様からの情報照会に対する直接のご対応はいたしておりませんので、お近くのジェトロ（ <a href="#">国内事務所一覧</a> 、 <a href="#">海外事務所一覧</a> ）までお問い合わせください。 当該国以外のお客様が訪問を希望される場合は、 <a href="#">海外ブリーフィングサービス</a> をご利用ください。
サービス	・ <a href="#">メールマガジン</a>
ビジネス情報	「 <a href="#">国・地域別情報</a> 」の「 <a href="#">オーストラリア</a> 」のページをご覧ください。

🖨️ このページを印刷する

## アクセスマップ

🖨️ このページを印刷する



• [Google Map](#)で見る

### ジェトロ・シドニーへのアクセス

- 電車(City Rail)の場合  
Sydney International Airport駅からT2 Airport, Inner West & South Lineを利用し、City Circle via Museum行きに20分ほど乗車。  
Circular Quay駅で下車し、徒歩6分。
- タクシーの場合  
所要時間約30分~40分。  
※日本からの到着便は朝暮のため、平日は朝の通勤ラッシュに巻き込まれることがある。道路渋滞は年々激しくなっている。

### 住所

Level 15, Governor Macquarie Tower, 1 Farrer Place, Sydney NSW 2000, AUSTRALIA  
Tel: 61-2-9002-6200


多文化共生に関する調査研究

### Latest Updates

-  27 Nov 2019  
Newsletter No.141を掲載しました。
-  30 Oct 2019  
Newsletter No.140を掲載しました。
-  30 Sep 2019  
Newsletter No.139を掲載しました。
-  28 Aug 2019  
Newsletter No.138を掲載しました。

### Facebook



CLAIR Sydney (一般財団法人自治体...  
Like Page 524 likes

---



CLAIR Sydney (一般財団法人自治体国際化協会シドニー事務所)  
22 hours ago

士別市活動支援  
Supporting Activity for Shibetsu City  
[For the English version see below]... [See More](#)



